

香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	語学特講Ⅳ (中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	210008		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	「実用シーンで学ぶ 入門中国語」						
担当教員	前崎 麗,澤田 功						
到達目標							
中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 文に対する理解、中国語の初歩的理解力	文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる程度できる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができない。		
評価項目2 初歩的作文の能力	初歩的作文の能力が身についている、		初歩的作文の能力をがある程度身につけている、		初歩的作文の能力が身についていない、		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。						
授業の進め方・方法	各学習項目ごとに、学習内容の解説とその関連事項を講義する。その講義を基に、繰り返し練習を行い、現実に使われている中国語に慣れる。語彙力並びに文章構築力を高めるための活動をする。						
注意点	とくになし						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第9課、補語 1、変化の語気助詞 “了”		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		2週	第9課、補語2、離合詞		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		3週	第10課、介詞 (1)		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		4週	第10課、“是…的”、介詞 2、仮定関係を表す表現		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		5週	第11課、強調構文		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		6週	第11課、介詞 3		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		7週	第12課 補語 3、能願動詞 1		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
		8週	第12課 補語 4、能願動詞 2		構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。B1:1,B2:1		
	4thQ	9週	第13課 補語 5、二重目的語構文		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		10週	第13課 補語 6、比較文		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		11週	第14課 兼語文		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2。		
		12週	第14課 使役文		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		13週	第15課 受け身		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		14週	第15課 存現文、兼語文		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		15週	学習のまとめ		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
		16週	前期期末試験		初歩的作文の能力を養成する。B1:2,B2:2		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0